

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年1月15日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0172902371		
法人名	有限会社 バリーウッドウ		
事業所名	グループホーム プランタンIV		
所在地	旭川市2条通16丁目500番地の2 (電話) 0166-24-1182		
評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3		
訪問調査日	平成21年1月14日	評価確定日	平成21年3月10日

【情報提供票より】 (平成20年12月24日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 17年 9月 15日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	17 人 常勤 10人, 非常勤 7人, 常勤換算 10.79人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り
	2階建ての 1~2 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	
敷金	有 ( 円) <b>無</b>		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 ( 円) <b>無</b>	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,200 円	

### (4) 利用者の概要(12月24日現在)

利用者人数	18名	男性 3名	女性 15名
要介護1	3名	要介護2	4名
要介護3	3名	要介護4	8名
要介護5	0名	要支援2	0名
年齢	平均 83歳	最低 60歳	最高 97歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	旭川ペインクリニック病院、東郷整形外科医院、林歯科医院、旭川ユニバース歯科クリニック
---------	--

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは、市の中心部に位置し、昔ながらの銀座商店街が近くにあり、買物や家族の来訪など、利便性のよい立地条件で生活しやすい建物構造となっている。低所得の方でも安心して利用できる料金設定となっている。利用者の希望を聞きながら「施術サービス」が無料で行なわれ、利用者が健康で元気に生活できる支援に努めている。職員は理念に基づいたケアサービスに徹し、一人ひとりの興味を引き出す支援が積極的に行なわれ、利用者の生活に潤いや楽しさを提供し、職員も一緒になって学び成長している姿となっている。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価で示された改善課題については、職員全員のミーティングによって検討されており、一部の課題に進展が見られるが、地域との付き合い、家族への報告、職員を育てる取り組みなどは、継続的課題として検討している。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者および職員は、自己評価や外部評価を実施する意義は理解されているが、本年度の自己評価で見出された課題についての具体的な話し合いは行なわれていない。改善課題を明確にし、具体的な改善に向けて職員全員で検討を重ね、より良いサービス提供への取り組みを期待する。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	ホームの事業報告や行事の様子などを報告し意見交換が行なわれ、サービス向上に活かしている。しかし、会議を構成するメンバーは地域の関係者が少なく、家族と職員が大勢を占めるなど、本来の会議の趣旨から十分とはいえない。地域住民や幅広い立場の人の参加をいただきながら、評価の結果と取り組みの状況、また、地域ぐるみの防災対策、地域密着型のサービスの質の向上を目指す内容など、幅広い内容の意見交換を期待する。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	日頃から家族との交流を図り、気軽に意見・要望を話せるような雰囲気作りを努めている。また、家族から意見や要望が出た際には、迅速に話し合いがもたれケアに反映させている。ホーム内での暮らしぶりやエピソード、行事予定などによる家族が知りたいことを考慮しながら、「お便り」などによる定期的な情報提供が行なわれることを期待する。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目④	地域的に難しい面があるが、管理者、職員ともに地域に根ざすことの重要性を認識しており、町内会に加入し地域の落ち葉清掃に参加するなど、地域との係わりが深まるよう努めている。ホームへの認識と理解を高めていただき、近隣住民との日常的な交流が図られるよう、更なる働きかけを期待する。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念はホームの見やすいところに掲示され、職員全員に浸透し理念を実践するため日夜努力されている。域密着型サービスの問題意識を認識しているが、理念の見直しや職員間での話し合いは行なわれていない。	○	地域密着型サービスとしての意義を職員全員で確認し、地域に根ざしていくため、グループホームとして明確な理念を作り上げることを期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は、ミーティングや日々の申し送りなどを通して職員と共有し、理念を認識しながら、利用者への支援に努めるよう日々取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域的に難しい面があるが、町内会に加入し地域の落ち葉清掃に参加するなど、地域との係わりが深まるよう努めている。ホームへの認識と理解を高めていただくよう考えているが、日常的な交流が図られるまでには至っていない。	○	地域との付き合いの重要性を管理者および職員も認識しており、地域でホームの存在や役割が更に理解され、交流が盛んになるよう、具体的な働きかけを期待する。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者および職員は、自己評価や外部評価を実施する意義を理解し、前回外部評価の改善課題は職員全員で話し合いがもたれ、改善に向けた取り組みが行なわれている。今回の自己評価は職員全員で取り組まれておらず、また、見出された課題の具体的な話し合いも十分行なわれていない。	○	自己評価作成には職員全員が参画することで、意識あわせ、ケアの振り返りなどが可能となるため、自己評価のねらいや活用方法を理解し、改善に向けて具体案の検討や実践につなげる取り組みを期待する。

旭川市 グループホーム プランタンⅣ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームの事業報告や行事の様子などを報告して意見交換が行なわれ、サービス向上に活かしている。しかし、会議を構成するメンバーは地域の関係者が少なく、家族と職員が大勢を占めるなど、本来の会議の趣旨から十分とはいえない。	○	地域に密着したホーム運営を具体的に進めるため、地域住民や幅広い立場の人の参加をいただき、地域に開かれた会議の運営が望まれる。また、会議の内容は報告や情報交換にとどまらず、地域ぐるみの防災対策や今回のサービス評価の結果も議題に含めながら、改善経過のモニター役を担っていただくなど、協議内容の充実への取り組みを期待する。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者とは、ホームの報告や介護保険業務に関する相談など、適時話し合いの機会を持ち協働関係を継続している。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族が来訪した際に日々の暮らしぶりや心身の状況を伝え、来訪できない家族には電話で伝えている。金銭出納簿は毎月家族に明細を明らかにし、家族の了解をいただいている。しかし、定期的な「ホーム便り」は送付されていない。	○	家族との信頼や協力関係を築くためには、きめ細かいやりとりは不可欠であるため、ホーム内での暮らしぶりやエピソード、ホームの行事予定など、家族が知りたいことを考慮しながら、積極的な情報提供を期待する。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃から家族との交流を図り、気軽に意見・要望を話せるような雰囲気作りに努めている。また、意見や要望が出た際には、迅速に話し合いがもたれケアに反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者は、利用者と馴染みの関係を継続することを大切にしており、職員の異動は最小限に抑えるよう努めている。異動や離職の際には、利用者への影響に配慮した支援を行なっている。		

旭川市 グループホーム プランタンⅣ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修は職員の能力や経験に応じて、研修を受講するよう促している。ミーティングの際に勉強会などを行ない、サービスの向上に向けた取り組みが行なわれているが、ホームとして計画的に職員を研修に参加させる体制は十分とはいえない。	○	外部研修などから得る情報は地域密着型サービスの質の向上に役立ち、ホーム運営にも好結果をもたらすため、運営面で工夫をしながら、実務に支障のない計画的な外部の研修受講への取り組みを期待する。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は、管理者会議や関連会議に積極的に参加し、ほかのグループホーム関係者と接触しながら、情報収集や意見交換を行なっているが、直接的な交流は行なわれていない。	○	管理者だけでなく、職員も含め、ほかのグループホームとの学習会や症例報告などの相互交流の機会を設けて、サービスの質の向上や職員育成への取り組みを期待する。
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に利用者や家族と十分に面談を行ない、見学していただいた後に入居となっている。利用者のペースで馴染むことができるよう配慮し、利用者や家族が安心して納得できるよう、適切なサービス開始の調整を行なっている。		
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者一人ひとりの経験や得意なことを見極め、活躍できる場面作りの支援が行なわれている。また、利用者から昔話や生活の知恵を教わったり、励まされたり労わってもらうなど、ともに支え合う関係作りに努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族から生活歴や環境、家族構成などの情報を収集するとともに、利用者の日々の言動や表情から思いや願いを読み取り、利用者本位に検討し把握に努め共有を図っている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員全員が毎日の記録を基にカンファレンスを行ない状況把握に係わるなかで、ニーズの把握に努め日常のケアに活かせる取り組みが行なわれている。家族の要望を取り入れ、職員が意見を出し合いながら、介護サービス計画が作成されている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じた見直し、また、利用者の状況や状態の変化などにより見直しを行ない、職員と話し合いながらケアに反映させている。介護計画の目標に対しての記録が連動出来るように書式改定を予定している。	○	日々の記録は介護計画の目標に基づいた実践を行ない、その評価（結果、気づき、様子など）が日常的に記載された記録となるよう期待する。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の希望に応じて、かかりつけ医への通院介助や外出時の付き添いなど、臨機応変に支援している。利用者の希望を聞きながら「施術サービス」が行なわれ、利用者が健康で元気に生活できるよう支援に努めている。		

旭川市 グループホーム プランタンⅣ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族の状況に応じて、希望するかかりつけ医への受診支援を行ない、柔軟に対応し、職員が通院介助をした際は受診結果などを記録し、家族に伝えている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等並びにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に向けた対応指針は、入居時に利用者及び家族に説明がされている。家族や利用者の意向も尊重しながら医療機関とも相談し、対処する予定であるが、重度化した場合や終末期のあり方について、明確な取り決めは明示されておらず、職員間での具体的な方針などについての話し合いは行なわれていない。	○	重度化や終末期に際してのあり方は、ホームを中心にできるだけ早い時期から利用者、家族、医師などで対応方針の確認が必要であり、ホームが対応しうる最大の支援の具体的方策について、早い時期の検討を期待する。
<b>Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者の誇りや羞恥心に配慮しながら、日々のケアを行なっている。書類や個人記録などの管理も十分に配慮されている。面会簿も個票となっている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームとしての1日の基本的な流れや生活リズムへの配慮がされており、利用者の生活歴、体調やペースを大切に、その人らしい生活を送れるよう支援している。		

旭川市 グループホーム プランタンⅣ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や後片付けなど、利用者の力量に応じて職員と一緒にこなしている。また、利用者の希望や季節の食材を取り入れた献立を立て、楽しみとなるように支援されている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	設備の事情により、曜日や時間が定められているが、利用者一人ひとりの習慣やペースで入浴ができるよう対応されている。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者のできることや趣味を活かせるように支援されており、花の水やりなど生活歴を活かした役割やレクリエーション、創作活動などの楽しみごとの実施により、日常の暮らしに張り合いや喜びを見出せるように努めている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候や利用者の希望に応じて身近な散歩や外気浴が行なわれている。ホームに車がないため、外出行事や利用者一人ひとりの希望に沿った柔軟な外出支援に十分対応できていない面がある。	○	外出の場面は、利用者と職員の双方にとっての気分転換やストレス発散、五感刺激を得られるチャンスとなるため、計画的な外出行事の設定や行き先の多様化が図れるよう検討を期待する。
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホーム前の道路の交通量の多さから、危険防止のため、家族の了解をいただいて、鍵をかける場合もあるが、職員全員は外出傾向のある利用者を把握しており、外出する様子の中には、さりげない声かけや見守りが行なわれている。		

旭川市 グループホーム プランタンⅣ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的な避難訓練を実施しているが、利用者が参加しての防災訓練は行われていない。また、町内会や地域住民への働きかけは行われてはいなく、協力体制を築くまでには至っていない。	○	利用者の安全をより確実なものとするためにも、利用者一人ひとりの具体的な避難誘導策などを検討し、また、夜間を想定した避難訓練など、不測に備える取り組みや災害時に備えた物品の準備が望まれる。また、指定の緊急避難場所を家族に周知するよう期待する。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の水分摂取量、食事量など個別記録され、職員が情報を共有している。系列の食事部会で栄養バランスに配慮した献立をつくり、それをホームで利用者一人ひとりの嗜好や状態に応じて調理方法も工夫がされている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は季節を感じることを出来る装飾や利用者の作品、写真などが飾られ、清潔でゆったりしており、利用者が居心地良く過ごせる空間となっている。温度・湿度の配慮もされており、気になる臭いもなく、音・光なども適宜調節されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の意向や家族の協力のもと、一人ひとりに応じた生活しやすい環境を整えている。居室には利用者が使い慣れた家具・写真などが持ち込まれており、洗濯物も干され、利用者が安心して過ごせる空間となっている。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。